

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成24年11月22日 (2012.11.22)

【公開番号】特開2012-12976(P2012-12976A)

【公開日】平成24年1月19日 (2012.1.19)

【年通号数】公開・登録公報2012-003

【出願番号】特願2010-148848(P2010-148848)

【国際特許分類】

F 0 4 C 23/00 (2006.01)

F 0 4 C 27/00 (2006.01)

【F I】

F 0 4 C 23/00 F

F 0 4 C 27/00 3 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月4日 (2012.10.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

上述の「押し付け力」を説明するために、図 4 の金属円環 1 3 5 を取り外す方法を説明する。

図の 4 箇所の矢印方向から金属円環 1 3 5 を押圧する。押圧する部分の金属円環 1 3 5 の内側は円弧状の空間になっている。この空間に接する金属円環 1 3 5 の内周面の周方向の長さは、対面する切り欠き部分の長さより長い。したがって 4 箇所の矢印部分を押圧すると、金属円環 1 3 5 が仕切板 1 1 4 に接触している部分は、金属円環 1 3 5 の径方向外側に膨らむ。すると、仕切板 1 1 4 の外周面と金属円環 1 3 5 の内周面の間に隙間ができて金属円環 1 3 5 を取り外すことができる。

金属円環 1 3 5 の取り付けはこの反対の手順で行うのであるが、金属円環 1 3 5 に対する押圧を開放すると、金属円環 1 3 5 の内周面が上述の空間に対面する部分がバネとなって金属円環 1 3 5 の締め代を吸収する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

図 8 は、組立装置 2 0 0 の動作シーケンスを示す図である。

フローチャートに従い組立装置 2 0 0 の動作を説明する。

まず S T E P 1 において、前工程でボルト 1 3 3 により固定された第 1 のシリンダ 1 1 0 a と第 1 の枠体 1 0 9 を、ベース 2 0 1 上に図 1 及び図 5 とは天地を反転させた状態で把持挿入機構 2 0 4 を用いて載置する。S T E P 2 では、ベース 2 0 1 上のワーク位置決め部品 2 0 2 により、第 1 の軸受 1 0 9 a の中心軸が所定の位置となるよう第 1 のシリンダ 1 1 0 a の位置決めをする。